

平成25年第4回(9月)上越市議会定例会  
総務常任委員会資料【所管事務調査】

(別冊2)

所管委員会	総務常任委員会
提出課	企画政策課

第4回上越市新水族博物館基本計画(案)見直し検討委員会  
来場者アンケート結果

実施日：平成25年8月27日(火) 配付会場：上越文化会館 中ホール

回答者属性

性別・年代

性別	年 代							合計
	10	20	30	40	50	60	70	
男	2	3	7	7	4	7	7	37
女	3	0	1	2	2	3	1	12
不明			1		1			2

アンケート提出者 合計51人/来場者130人

(回収率39%)

住 所

高田区:6 春日区:7 津有区:1 直江津区:23 有田区:3 谷浜・桑取区:1  
安塚区:1 大島区:1 大潟区:3 頸城区:1 板倉区:2 その他:2



## 設問1：どのような展示や設備があると良いと思いますか。

### 展 示

[ 全般的なこと ]

- ・日本海を活用した展望、展示。
- ・幻想的な展示。
- ・生命のすばらしさを肌で感じられるような展示方法・設備があると良い。
- ・海岸と一体化した展示。
- ・大人の水族館、夜の展示、地域らしいもの。
- ・冬でも見に来る人がいるような設備、展示がほしい。
- ・目玉があると良いと思います。大きい魚とか、悠々と泳ぐジンベイサメとか見ていて癒されるものがあれば良いと思います。
- ・体験型、イベント型等も取り入れる。
- ・海のそばにあることが意識できる動線。例えば、のとじま水族館のイルカショー会場は、海をバックにしており、解放感がある。
- ・海が苦手な人が私の周りには多いので、そのイメージを変えられるような設備があると良い。
- ・(現在は)博物館にしては、展示品が少ない。コーナーが貧弱である。
- ・冬限定でもいいが、常夏ジャングルといった、冬でも外の天気を忘れさせるような別世界の雰囲気があると良いと思う。
- ・ジャングルゾーンの温室エリアと、冬場の催事やイルカとの触れ合いプールなどを融合させる。

[ 水槽・魚 ]

- ・大水槽にイワシの大群。
- ・世界中の珍しい魚。
- ・ジンベイサメは無理でも、マンタが飼えるくらいの水槽。
- ・20mくらいの海中トンネルから、深海魚を見る。
- ・淡水魚と海水魚を融合した水槽があると面白いかもしれない。

[ 上越市・地域に生息する生物 ]

- ・地域の小川、大川、湖・沼・海辺に住む魚。水生昆虫、水辺にいる鳥などを展示する。
- ・上越の名物の魚を展示する。
- ・地元の魚類は最低限展示する。
- ・上越地域の主な川に棲息している魚介類(関川 鮭、矢代川 マス、アユ、カジカ、イワナ、保倉川 ヤツメウナギ、桑取川 素魚(シロウオ)、カジカ、イワナ、名立川 鮭)。
- ・上越の旬の魚を見たり、子供が触れたりできる水槽。
- ・関川水系の展示がほしい。
- ・地域や日本海の特徴ある魚を展示してほしい。

### 〔イルカ等の海獣〕

- ・研究内容の展示や、イルカ以外にも海獣類の展示を充実させる。
- ・イルカショーの実施とサメの展示を行う。
- ・イルカの通年飼育をしてほしい。
- ・イルカショーを通年行ってほしい。
- ・イルカショー以外の期間は、ペンギンショーをするのはどうか。
- ・ペンギンをもっと生かしてほしい。
- ・年間を通して、クジラやイルカがいてほしい。今までは夏休みシーズンだけ、遠方の水族館から出張してもらっていたが、移送経費もかかるし、何よりイルカに負担がかかる。雪国なので、冬は厳しいと思うが、夏にはオープンできるドーム型にするとか、もともと冷たい海にいるベルーガなら、上越の海も乗り切れるのではないか。
- ・ホッキョクグマの展示スペースで極寒体験を行う。

### 〔学習・体験〕

- ・海の生物の学習コーナー、海の知識館スペースがほしい。
- ・魚の生息時代が理解できるような展示や、海の深さがわかるような展示を行う。
- ・体験型の展示、設備（イルカと話す、潜水士とコミュニケーションを図る、水中結婚式、水中プロポーズ、水着に着替えてプールに入る。サメの水槽に潜る。）
- ・ヒトデやサザエなど、海の生物と触れ合う施設をつくる。
- ・魚と触れ合える体験活動を行う。
- ・子供が楽しめる体験コーナーを設ける。
- ・自由に調理できる施設や魚の解体体験ができる施設があれば良いと思う。
- ・子供が興味を引くもの、親子で体験できるもの。
- ・広い世代で楽しめる体験コーナー。
- ・スマートフォン等を利用して、鮭の生態などを図鑑として収集したりする設備がほしい。
- ・日本海(西頸城 直江津 大潟 柿崎)の漁業に関する資料を充実させる。土舟、網はあるが、それ以外の資料はない。佐渡とも連携し、資料収集してはどうか。

### 〔海洋資源を紹介〕

- ・メタンハイドレードなど海洋資源の展示を行う。
- ・上越沖にあると言われている、メタンハイドレードの展示館(海中資源類)があれば良いと思う。

### 設 備

- ・直接的に海の中に入り込む施設ができないでしょうか。
- ・見終わった後も、子供が遊べる屋内遊具スペース。
- ・ポーッと時間を過ごせるようなラウンジが良い。
- ・魚やその他の生物、海や河川などに関する本や漫画・DVDを揃えたマンガ喫茶的な施設がほしい。
- ・日本海の夕日が見える展望台。

〔屋外での体験活動と関連施設の整備〕

- ・水族館から出入りできるビーチを整備して、バーベキューや運動会、地引網体験ができるようにする。
- ・サイクルモノレールのような海や雰囲気を感じられる乗り物。
- ・魚つり体験。
- ・池の魚のつかみ採り体験。
- ・強風体験ができる設備。(日本海の荒波をイメージ)
- ・柏崎～系魚川地域限定地域で使用されていたという「浜下駄」の体験事業を行う。
- ・ピクニックやバーベキューガーデンなど、子供連れがゆっくりできるスペースがほしい。
- ・夕日コンサートができるステージ。
- ・子供を中心に家族で楽しめる施設がセットで整備されると良い(プール、釣りぼり、アトラクション)。
- ・日本海の夕日が見られる所(展望)。現水族館海側の民有地の建物があまりにも見苦しいので、できたら公園化すべきである。
- ・館外に、メダカなどがいる小川があると良い。芝生公園みたいなものもあれば良いと思う。

〔風雨・風雪対策〕

- ・冬も含め、悪天候でも車を止めてから雨・雪に濡れずに入れるエントランスの工夫をしてほしい。
- ・せっかくの展示であっても、傘をささなければならぬ状況では、楽しさも減ってしまうので、屋根の設置や、むしろ悪天候を利用できる施設があると良いと思う。

〔飲食コーナー〕

- ・長居できるように、ファーストフードコーナーがあると良い。
- ・民間レストラン、水槽が見えるレストラン。
- ・(レストランのイメージ図から)背面に大水槽があって、荒天時には逆向きにするといった工夫をしてほしい。
- ・付帯したレストランではなく、独立した本格的なシーフードのテーマパークを建設してほしい。

〔その他〕

- ・景色がいいので、温泉、足湯、部屋に水槽があるホテルとしてはどうか。
- ・鮮魚センター。
- ・魚屋さんの併設。
- ・水族館の一部がまちに開かれて計画され、マリンビジネスを集約させたエリアをつくり、飲食、休憩、無料イベント広場等を整備することを望む。
- ・(基本計画(案)の基本コンセプトに対して)「動物たちと巡る冒険ミュージアム～日本海から世界の海へ」は上越の水族館にとって最高のコンセプトなのかどうかはよくわかりません。上越(日本海)から世界の海までの展示が必要なかどうか? 展示計画での「サンゴ礁の海ゾーン」

や「ジャングルゾーン」(温室)など、このコンセプトのための施設計画だと思いますが、整備に係る有識者検討委員会の中でコンサル側から出された「コミュニケーション手法調査」の項目ごとに上越市新水族博物館としての最適コンセプトを運営事業者にも参画してもらい、構築して行くことが出来れば、より完成度の高い水族博物館ができるのではないかと思います。「基本計画案見直し検討委員会」では、運営事業者の参加は無理な状況で、それぞれの分野での学識経験者4名による検討ですが、ある程度の施設設備の検討がなされた段階で、整備に係る有識者検討委員会のメンバーの方々(特に水族館館長の方々やまちづくりに関わるメンバー)も含めた拡大型の検討委員会の開催を強く望みます。

#### 〔役割や施設のあり方〕

- ・水族館を出発点として、自然との関わりのセンターとしての役割も果たしてもらいたい。
- ・見る一方で、体験する、食べる、買うという観光要素を全て取り入れて下さい。加えて、上越の総合的観光波及の発信基地機能を持たせてください。
- ・高台なので、津波の防災センターも兼ねてほしい。
- ・エデュティメントのコンセプトは良いと思います。
- ・全国に誇れる展示、ショーやアトラクションの充実、非日常的な空間を演出できる設備。
- ・アトラクション多数な施設を整備する。
- ・水族館周辺に誰でも集まれる施設にしてほしい。
- ・デートで使えるようなものを期待したい。
- ・全国の水族館と連動して、各水族館でしか見られない魚を展示することで、収集心をくすぐり、全国的に盛り上げていく。
- ・天気が悪いときに満足できる楽しい場所になってほしい。(観光客：高田の桜を見に来たが荒天だった、市民：家族で過ごすせつかくの休日なのに荒天だった。「水族館へ行ったら楽しめた」と、なるように)
- ・ランニングコストが赤字になることが分かっているなら、その対策をちゃんと考えてほしい。
- ・関東から日本海に一番近い水族館を目指すなら、「日本海最短水族館」という名も良い。

#### 〔駐車場等〕

- ・十分な大きさの駐車場。
- ・親子づれを対象にしたシャトルバスを運行できないか。

#### 〔イベント〕

- ・イベントを色々考えてほしい。
- ・謙信公祭でガクトさんが来ただけで、2日で20万人が来るのだから、イベントを色々考えるべきである。

## 設問2：今後、上越市の水族博物館に、どのような期待をしますか。

### 〔新施設への期待〕

- ・子どもの頃を思い出した時に、いつも思い出される存在であってほしい。
- ・地元の人が何回も足を運ぶような水族館であってほしい。
- ・北海道の旭山動物園のような、知名度のある水族館になることを期待する。
- ・一日も早い、新水族館建設を望む。
- ・子どもから大人まで楽しめる施設にする。
- ・市民に親しまれる、市民が楽しめる水族博物館としてほしい。
- ・(規模を含め)日本海沿線で1番の水族博物館の建設を望む。
- ・上越市を元気とするのに不可欠な施設。
- ・子どもに夢を与えるような素敵な水族館になってほしい。
- ・教育、観光の両面で効果のあるものにしてほしい。
- ・(県外の人だけでなく)市民が何度も来たくするような施設にしてほしい。
- ・一般的でない、一味変わった存在になってほしい。
- ・地域密着型の施設。
- ・まちづくりや活性化に貢献する施設。
- ・市民も観光客も楽しめる施設であってほしい。
- ・1年を通して集客できる水族館にしてほしい。
- ・桜、謙信公祭、海水浴、現水族館など、いまいち集客力に欠けるので、新水族館には大いに期待しており、一日も早く完成を望む。特に、県外からの集客に力を入れてほしい。
- ・展示の更新頻度を高くして、飽きないものにしてほしい。
- ・新幹線の開業に伴い、近隣の海のない県の人たちが気軽に立ち寄って、リラックスできる場になると良い。
- ・生息環境が破たんした時の生態系の「ノアの箱舟」になってほしい。
- ・海についての教育や研究、環境保護を行っていただきたい。それが、日本全体にも良い影響になると思う。

### 〔経営・入館料〕

- ・20年後も単年度黒字を維持して、市の外貨獲得の手段としてほしい。
- ・常時来る人のためのパスポートも出してもらいたい。
- ・無料コーナーがほしい。
- ・老人割引があるとよい。
- ・環境に配慮した、コストパフォーマンスに優れた施設にしてほしい。

### 〔展示〕

- ・現水族博物館はいろんな種類の生物が大切に状態良く飼育されており、新しい水族館になっても、同様に飼育してほしい。
- ・ペンギンをもっとメインに据えるべき。
- ・上越は山あり、川あり、海あり...この特徴を展示に活かしてほしい。

- ・現水族博物館にあるマリンジャンボのように、心が落ち着く空間がほしい。
- ・水槽の裏側を見たい。
- ・日本一長いスロープはおもしろそうです。
- ・「見る」と「食べる」が直結しているのは大変面白いと思う。
- ・海を生かした計画は良いと思う。
- ・年間 40 万人を入館させるような生物を飼えないだろうか。

[ 役割・附帯機能 ]

- ・コミュニティセンターの役割も担えるように整備してほしい。
- ・地元の動植物の発信基地にしてほしい。
- ・公園一体型的水族館。
- ・直売所があっても良い。
- ・無料開放スペースもほしい。
- ・一日いても楽しい多目的空間。
- ・日常的に足を運べる公園の様な場所を付帯させるのも良いが、日本海は一年の半分は荒れた海、雪の時期であり、太平洋側のようにはいかないのではないかと思う。
- ・カフェや何か食べられる、みんながくつろげる場所があると良いと思う。
- ・東日本大震災の教訓を生かし、十分すぎるほどの防災体制を整えていただきたい。

[ その他 ]

- ・ハードも大事だが、ソフトをきちんとしてほしい。水族館の職員の方に笑顔が見受けられない。楽しんでもらいたいという気持ちを感じられない。ここが一番大事なことではないかと思う。良いものを作っても最初だけ盛り上がるが、それで終わり。そこに働く人の気持ちがなければ意味がない。(一昨年、昨年と水族博物館に行って思ったことである)

### 設問3：その他、ご意見がありましたらお書きください。

#### 〔新施設への期待〕

- ・海を利用した上越市ならではの水族館を望みます。
- ・観光客、地元にも多くの思い出をつくれるものにしてください。
- ・直江津地域のランドマーク的な施設であってほしい。
- ・上越全体、直江津のまちづくりに活かせる水族館であってほしいと思います。
- ・水族館だけでなく周辺のまちおこしの核として、経済波及効果だけでなく、生涯学習効果や地域交流効果も期待できます。
- ・塩害や強風、雪に強い施設にしてほしい。
- ・多目的な利用方法で、集客を高められる施設になれば良い。
- ・県外からたくさんのお客さんが来て、みんなが大好きな水族博物館になってほしい。
- ・暇だから行こう！みたいな感覚で行ける水族博物館が良いです。
- ・誰でも楽しめ、多くの人に来てもらえる施設を望む（上越の活性化につなげる）。
- ・将来の人々に残すものと考え、非常に期待している。
- ・直江津の活性化のため、経済効果には期待している。
- ・海、河川、湖、池などの養魚場としての指導的な役割を担ってほしい。

#### 〔基本コンセプト〕

- ・冬の日本海を売りにする（大荒海、大声大会、演歌の世界大会）。
- ・命の大切さを知らせる（見て、釣って、食する）。
- ・冬の日本海、日本海に沈む夕日をPRする。ただし、3か月間は荒海であることを忘れずに。
- ・水族館に来る人は癒しを求めてくると思う。
- ・日本海には暗いイメージがあるため、「日本海を打ち出す」では来館者増に期待できないのではないか。
- ・コンセプトは、日本海ではなくエデュティメントはどうか。
- ・水族博物館なのか水族館なのかを議論しないと、コンセプトを考えられないのではないか。
- ・博物館とするなら市民のため、子供のための施設とすべきであって、観光のことを考慮する必要はないと思う。
- ・上越市だけの特性を出す。

#### 〔展示〕

- ・日本一となるものを備えてほしい。
- ・今あるアートコーナーが残るとうれしいです。
- ・湖、沼群の淡水魚や鳥類などの展示を行う。
- ・リニューアル後もイルカをレンタルし続けるのか、それとも通年飼育をするのか、コンセプトに入っていないのが気になった。
- ・生態展示を水族館でできないものか。
- ・上越地方の水中生物の展示をしてほしい。
- ・魚の説明のヘッドフォン。

- ・昔の直江津が海と生活していた様子を展示してほしい。

#### 〔付帯機能・設備〕

- ・土産センターを取り入れてください。
- ・海洋堂のフィギアを置いてほしい。
- ・駐車場を100%確保してください。
- ・冬場の集客、雪とのコラボできるスペースをつくる。
- ・海鮮や魚介類の専門図書館があると良い。
- ・外壁にある魚の陶器飾りを（全部は無理かもしれないが）切り取って、新しい水族館に利用してほしい。制作した人の思いが込められているし、水族館の歴史上も貴重である。

#### 〔整備検討の進め方〕

- ・十分に意見を聞く聞いた検討をして市民が満足感を持てるように進めてほしい。
- ・全市民から希望、アイデアを募集して検討してください。検討結果を随時報告してください。
- ・市民の合意を得て行うようにしてください。
- ・アイデア提案にあったものを取り入れて下さい。
- ・観光ディベロップ会社の意見を聞いてください（雑誌レジャー産業を発刊しています）。
- ・集客エリアや集客規模の検討をデータに基づいて行ってください。
- ・市外の人にも意見を聞いてはどうか。
- ・ホームページ等で意見を集めることは必要である。
- ・利用者の意見も取り入れたらいかがでしょうか。
- ・できるだけ市民に情報を教えてほしい。

#### 〔経営・運営について〕

- ・20年後も単年度黒字となる計画としてください。
- ・経済効果ばかり追求しすぎではないですか。
- ・集客見通しが甘くないか。
- ・集客見込み数が甘いのではないか。
- ・入館者予想人員が大きいのではないか。財政見通しが不安だが、できる限り市民に情報を伝えてほしい。
- ・財源を市民に周知してください。
- ・各区の理解を得るため、オープン後に招待又は割引券を発行してください。
- ・63億円の予算基本プランを立てる段階では、少しおいておくもの大切だと思う。
- ・指定管理者の選定については十分な調査をしてほしい。
- ・花火のときは、無料で施設を解放できないか。
- ・高齢者と子どもは入館料を割引してほしい。

#### 〔建設場所・交通安全の確保〕

- ・A、B、C案とも「首都圏から一番近い日本海」のキャッチフレーズのもと計画されていますが、いずれも日本海に隣接していない計画敷地であり、眺望だけでは水族館の魅力度(経営判断

においても)がかなり低くなるでしょう。A案(場合によってはC案も)では道路をはさんだ北側の民地(資材置き場等)を何らか形で買収(等価交換など)し、ペDESTリアンデッキ等で浜辺まで行ける敷地とする事が敷地選定の重要ポイントだと考えます。

- ・C案での高台と水族館とグラウンドの兼ね合いが悪い。
- ・グラウンドを移設できないか。
- ・現在の場所では駐車場を含めて狭い。道路を横断することになり非常に危険である。
- ・海岸線の交通が危険である(トラックが侵入できないようなシステムを作る)。
- ・駐車場とのアクセスを良くするために、遊歩道整備が必要である。

〔検討委員との意見交換について〕

- ・意見交換は時間が短く、一方通行になっていた。次回は、時間配分を考えてほしい。
- ・市民の声を反映させるという点においては、このような会を企画された市当局に敬意を表します。
- ・意見交換の場に若い人が少ないと思いました。

〔連携策〕

- ・新幹線開業や高速船の就航が決まっているので、佐渡・小木との連携をしてほしい。
- ・空き時間の利用を考えてほしい(水槽前でヨガの教室開催)。
- ・現水族館前にあるダイビングショップと提携して、巨大プールでダイビング資格を取れたら良いと思う。その資格を利用して、ボランティアで水槽の掃除をしてもらうのはどうか。

〔その他〕

- ・早い段階からの人材育成が必要になってくると思う。
- ・日本海から信濃川をサケが登ります。飯山・長野・上田・佐久...といくとやがて東京湾に出てしまう。魚に日本海側太平洋側も無くしてしまった。この現実に対し何も感じない知識のなさ、問題意識の低さの遠因には入場者数や利益率ばかりで争う「見世物小屋」と化した水族館があるように思います。